愛知県陶磁資料館企画展
愛知県埋蔵文化財センター埋蔵文化財展
愛知県立大学地域連携事業

戦国のあいち

信長の見た城館・陶磁・世界

清洲城下町遺跡（清須市）の石垣

日本・瀬戸
鉄釉四耳壺
愛知県陶磁資料館所蔵

中国　三彩宝相華文五耳壺
（トラディスカント壺）
愛知県陶磁資料館所蔵

同時開催

特集陳列1
**東海最大の弥生集落
―朝日遺跡の至宝**

特集陳列2
**愛知県埋蔵文化財センター
発掘調査の風景**

平成24年
新指定
重要文化財
赤彩壺
（朝日遺跡）
愛知県教育
委員会所蔵

朝日遺跡（清須市ほか）の発掘調査

愛知県指定文化財　南蛮屏風　西運寺（安城市）所蔵　左隻［展示期間:9月2日まで］

愛知県指定文化財　南蛮屏風　西運寺（安城市）所蔵　右隻［展示期間:9月4日から］

AICHI IN THE WARRING STATES PERIOD —CASTLES, CERAMICS, AND THE WORLD IN NOBUNAGA'S TIME

2012年7月28日［土］～9月30日［日］　愛知県陶磁資料館　本館　第1・第2展示室　特別展示室

開館時間　午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
※7月28日［土］は開会式のため午前11時から

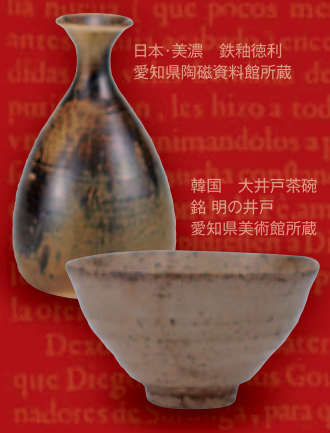
休館日　毎週月曜日（9月17日［月・祝］は開館、18日［火］は休館）

観覧料　一般600円（480円）高大生500円（400円）中学生以下無料
※（ ）内は20名以上の団体料金

割引制度　チラシ等に付属の割引引換券1枚につき1名、100円引き／リニモ「藤が丘駅」・「愛・地球博記念公園駅」・「陶磁資料館南駅」・「八草駅」に設置の割引チラシ、リニモ一日乗車券、名古屋市営交通一日乗車券（ドニチエコきっぷを含む）、モリコロパーク駐車場再入場券、名都美術館観覧券の半券を持参の方は、観覧料が2割引になります。
※身体等に障がいのある方および付き添いの方には割引制度があります　※各割引制度の併用はできません

主催　愛知県陶磁資料館／（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
愛知県公立大学法人 愛知県立大学／愛知県教育委員会／中日新聞社

後援　愛知高速交通株式会社



日本・美濃　鉄釉徳利
愛知県陶磁資料館所蔵

韓国　大井戸茶碗
銘 明の井戸
愛知県美術館所蔵

愛知県陶磁資料館
Aichi Prefectural Ceramic Museum
やきものを見て・つくって
一日遊べる体験ミュージアム

愛知県陶磁資料館企画展
愛知県埋蔵文化財センター埋蔵文化財展
愛知県立大学地域連携事業

戦国のあいち

信長の見た城館・陶磁・世界

清洲城下町遺跡（清須市）の出土遺物　愛知県教育委員会所蔵

一色青海遺跡（稲沢市）の土器などの出土状況

平成24年
新指定重要文化財
円窓付土器（朝日遺跡）
愛知県教育委員会所蔵

本展では、歴史文化の調査研究に携わる愛知県の諸機関が連携して、戦国時代の愛知県域について探求します。

信長登場とその前後の時期に焦点をあて、尾張国の中核的な城館とマチ、やきもの、ヨーロッパの宣教師たちが見た愛知県域の姿などを通じて、戦国時代の人びとの暮らし・モノづくり・世界との関わりを紹介します。愛知県埋蔵文化財センター、愛知県陶磁資料館、愛知県立大学の共同企画展で、それぞれの持ち味をいかした展示内容になっています。

本展で、激動と変革の時代であった戦国時代をみつめ、同じく激動と変革の時代である現代社会を生きる上で必要な、世界的・歴史的なつながりを感じ取っていただければと思います。

なお、特集陳列1「東海最大の弥生集落ー朝日遺跡の至宝」では、本年新たに重要文化財に指定される朝日遺跡(清須市ほか)出土品等によって、弥生土器の造形美を展示紹介します。

また、特集陳列2「愛知県埋蔵文化財センター発掘調査の風景」では、同センターの20年以上にわたる調査・研究活動の軌跡を、遺跡調査の写真パネルによってたどります。

AICHI IN THE WARRING STATES PERIOD —CASTLES, CERAMICS, AND THE WORLD IN NOBUNAGA'S TIME

交流プログラム

■**埋蔵文化財講演会**「戦国尾張の城と町 —安土への道、大坂への道—」9月9日[日]午後1時30分～3時　本館 講堂
講師：仁木 宏 氏（大阪市立大学教授）※事前申込不要、参加無料

■**埋蔵文化財講座**「発掘された尾張守護所」7月29日[日]午後1時30分～3時30分　本館 講堂・第1展示室
講師：鈴木正貴（愛知県埋蔵文化財センター 調査研究専門員）
講堂での講義の後、展示室で「信長を生んだ戦国尾張」の展示解説を行います ※申し込み不要、参加費無料（ただし、観覧券が必要）

■**考古学セミナー**「あいちの考古学2012」9月30日[日]午前10時～午後4時　本館 講堂・講堂ロビー
発表：愛知県内で遺跡の発掘調査を実施している各種機関・団体
考古学的な調査・研究の最新成果を報告します ※申し込み不要、参加費無料

■**あいち学セミナー**「大航海時代の戦国あいち」8月26日[日]午後1時30分～4時　本館 講堂
講師：服部光真（愛知県立大学大学院生・日本中世史）／大塚英二（愛知県立大学教授・日本近世史）
山村亜希（愛知県立大学准教授・歴史地理学）／アナ・ガルシア（東京大学准教授・中南米スペイン語学）
総括：上川通夫（愛知県立大学教授・日本中世史）
共同研究の成果を展示内容に基づき報告します ※申し込み不要、参加費無料

■**日替わり展示解説**
「大航海時代の戦国あいち」8月5日[日] 本館 第1展示室　川畑博昭（愛知県立大学 准教授）／「朝日遺跡の至宝」8月12日[日] 本館 特別展示室　原田 幹（愛知県教育委員会 主査）／「戦国陶磁を探る」9月2日[日] 本館 第1展示室　小川裕紀（愛知県陶磁資料館 学芸員）／「戦国陶磁の鑑賞」9月23日[日] 本館 第2展示室　小川裕紀（愛知県陶磁資料館 学芸員）
いずれも午後1時30分～（約30分）※申し込み不要、参加費無料（ただし、観覧券が必要）

■**日替わり考古学ワークショップ**
「骨のペンダントを作ろう」7月29日[日]／「岩倉城の獅子頭を作ってみよう」8月5日[日]
「弥生土器の拓本をとろう」8月12日[日]／「かわいい水滴つくってみましょう!」8月19日[日]
「あなたも私も同じ仲間!? 古墳時代のフェイス・ペインティング」8月26日[日]
講師：愛知県埋蔵文化財センター職員／愛知県埋蔵文化財調査センター職員／愛知県教育委員会文化財保護室職員
いずれも本館 特別展示室入口前にて午前10時～正午、午後1時～3時の間に随時 ※申し込み不要、参加費無料

茶室「陶翠庵」より

展覧会会期中、加藤卓男氏（人間国宝・9月生まれ、故人）と五代加藤作助氏（愛知県指定無形文化財・8月生まれ）の茶碗でお楽しみいただけます。また、瀬戸・美濃・常滑の代表的な陶芸作家のうち、誕生月の作家の茶碗をご用意いたします。（一服530円）

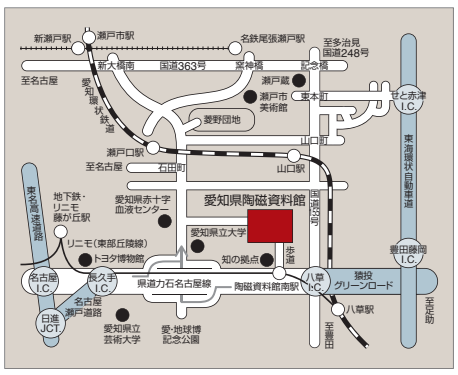
瀬戸市内の展覧会

お問い合せ：瀬戸市美術館 TEL. 0561-84-1093

■**瀬戸市美術館**　平成24年度公立美術館巡回展支援事業「明治・大正時代の日本陶磁」9月1日[土]～10月14日[日]　■**瀬戸蔵ミュージアム**　「紺屋田A窯跡とその周辺」6月30日[土]～8月26日[日]／「瀬戸のやきもの文明開化」9月1日[土]～10月28日[日]　■**瀬戸市新世紀工芸館**　企画展「松田隆作 吉川正道」7月8日[日]～9月23日[日]　■**マルチメディア伝承工芸館**　企画展「飾る瀬戸染付・使う瀬戸染付」6月27日[水]～9月24日[月]

次回展覧会のお知らせ

特別企画展「アール・デコ 光のエレガンス」
10月6日[土]～12月24日[月・祝]



■**リニモ（東部丘陵線）**「陶磁資料館南」駅下車、北方向へ徒歩600m
■**名鉄バス（土・日・休日のみ運行）**
名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から「愛・地球博記念公園駅」行き「陶磁資料館」下車
■**自家用車（駐車場無料・250台収容）**
東名高速道路「日進JCT.」経由、名古屋瀬戸道路「長久手I.C.」から瀬戸方面へ約5km／東名高速道路・名二環道「名古屋I.C.」から瀬戸・豊田・足助方面へ約10km／東海環状自動車道「せと赤津I.C.」から長久手方面へ約7km
■**タクシー**
地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から約10km／名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約7km

やきものを見て・つくって一日遊べる体験ミュージアム

愛知県陶磁資料館
Aichi Prefectural Ceramic Museum
〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL 0561-84-7474　FAX 0561-84-4932
http://www.pref.aichi.jp/touji

リニモ沿線情報「リニロコとぴっくす」 http://www.facebook.com/liniloco

毎月第3日曜日は、愛知県陶磁資料館『陶芸ふれあい体験日』

ふれあい陶芸教室（陶芸館・要予約）、愛知県立芸術大学学生によるロビーコンサート（本館玄関・入場無料、全席自由）など、お友達同士でもご家族でも一日中お楽しみいただけます。詳細はhttp://www.pref.aichi.jp/toujiでご確認ください。

常設展のご案内
本館2階：「世界やきものの旅」「土と炎の芸術」「全国古窯陶磁資料展」
本館地下1階：「現代の陶芸」　西館：「陶磁のこま犬百面相」
南館：「やきもの何だーランド」「あいち子ども考古学研究室」